

# 「学習の地」 伊勢!

くまのふるさとで SDGsを学ぶ



三重県創生研鑽会 チームとこわか

紀北信用金庫 東大葵 / (株)伊勢福西尾 帆乃夏

(株)ベステックスキーエイ 岡田 菜穂

三重大学人文学部 飯田 拓真 / 東京海上日動火災保険(株) 小田 倫也

# 現状の課題

観光施設等を目的地とした検索回数ランキング 2020年(休日)三重県 交通手段:自動車  
出典:RESAS

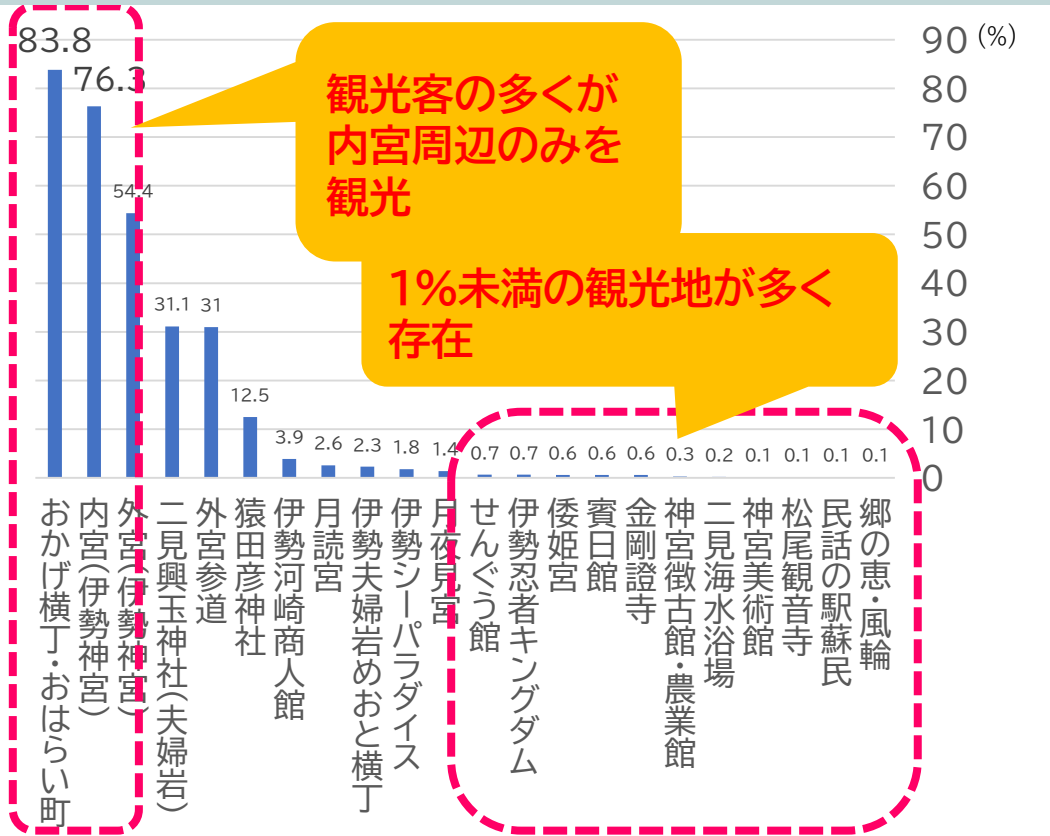


三重県の観光地  
といえば  
「伊勢神宮」!

伊勢に人は来ている  
はずなのに・・・

伊勢市の他の観光地  
は検索数上位に入っ  
ていない

観光地立ち寄り人数構成比  
出典:令和3年伊勢市観光客実態調査報告書 概要版



観光客の多くが  
内宮周辺のみを  
観光

1%未満の観光地が多く  
存在

伊勢神宮以外の観光地では観光消費額の増加が見込めない状況  
となっている

伊勢神宮という三重県一の観光地としての強みを活かした、伊勢市全体を盛り  
上げることができるアイデアを検討する事とした



出典:伊勢市観光客実態調査報告書 概要版(H27-R3)



出典:令和3年 伊勢市観光統計【資料編】



伊勢市全体の観光客は減少しているが、学校参拝者数でみると増加している

立ち寄り数の少ない箇所は博物館・文化財など学習向きな施設も多い

学校からの来訪者に伊勢神宮以外の観光地を訪れてもらえるコンテンツを提供できれば、課題を解決できるのでは？

## 2020年度に実施された修学旅行に関する全国の中学校・高等学校への抽出調査

2020年 見学先		2020年 班別自主行動場所	
中学校	圏外から <b>14位</b>	中学校	圏外から <b>8位</b>
高等学校	圏外から <b>13位</b>	高等学校	圏外から <b>13位</b>

出典：公益社団法人日本修学旅行協会「教育旅行年報データブック2021年」

コロナ禍で修学旅行生が増加→伊勢神宮が修学旅行の行き先に！



しかし…

2019年度のデータには三重・伊勢神宮の名前は見当たらない…

→コロナ以前は修学旅行の行き先としての注目度が低い

# 伊勢市への修学旅行における問題点①

## ◆伊勢志摩コンベンション機構 伊勢志摩学生団体誘致委員会へのヒヤリング

学校は2年前から行き先・交通手段等を決めて予約→基本的に修学旅行の行き先は変わらない  
学校側から、「コロナ終息後は元の行き先に戻す」との意見も

→コロナ終息後、元の行き先へ戻す学校が増える可能性が高い

## ◆現在の修学旅行の実態

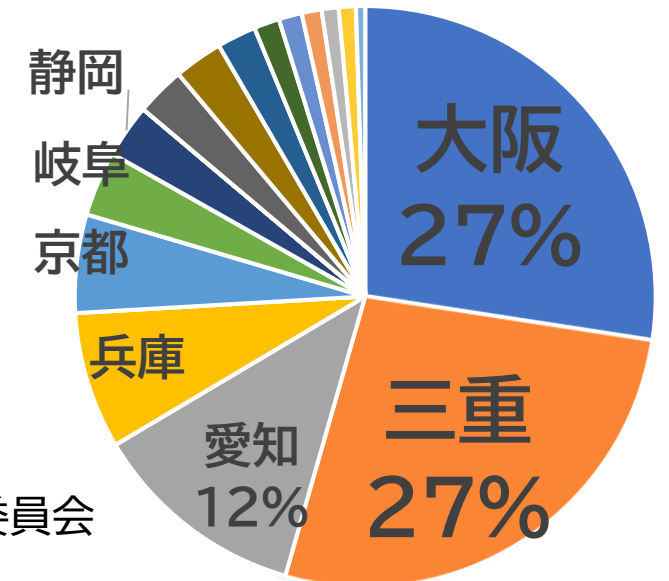
コロナ禍で県内や近隣からの修学旅行生が多い

しかし、コロナ禍で行き先等の内容を変更した学校が多く、  
特に県内の学校がこのまま県内への修学旅行を続けるとは考えにくい

→コロナ終息後、多くの学校が以前の行き先に戻すと考えられ、

修学旅行生が大きく減少する可能性が高い

2020年度学生団体旅行誘致実施調査



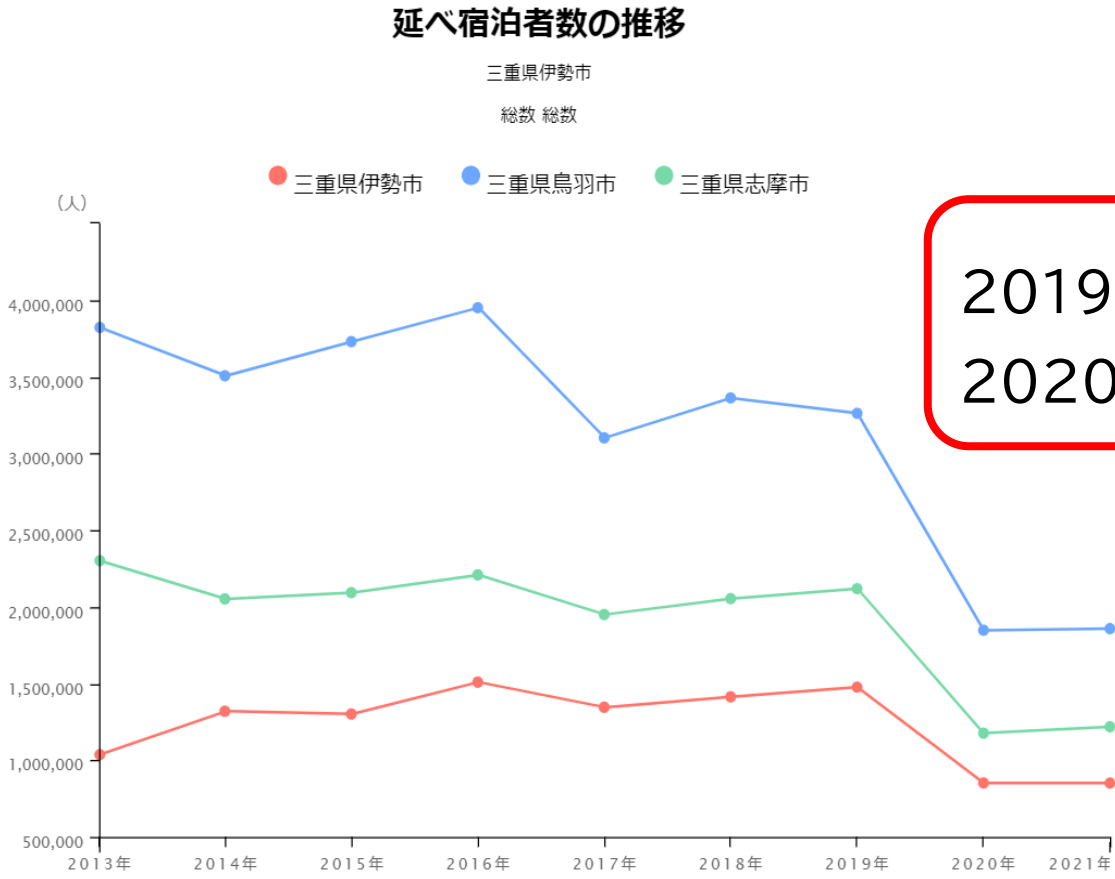
出典:伊勢志摩コンベンション機構 伊勢志摩学生団体誘致委員会  
2020年度学生団体旅行誘致実施調査  
(伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢が対象)

# 伊勢市への修学旅行における問題点②

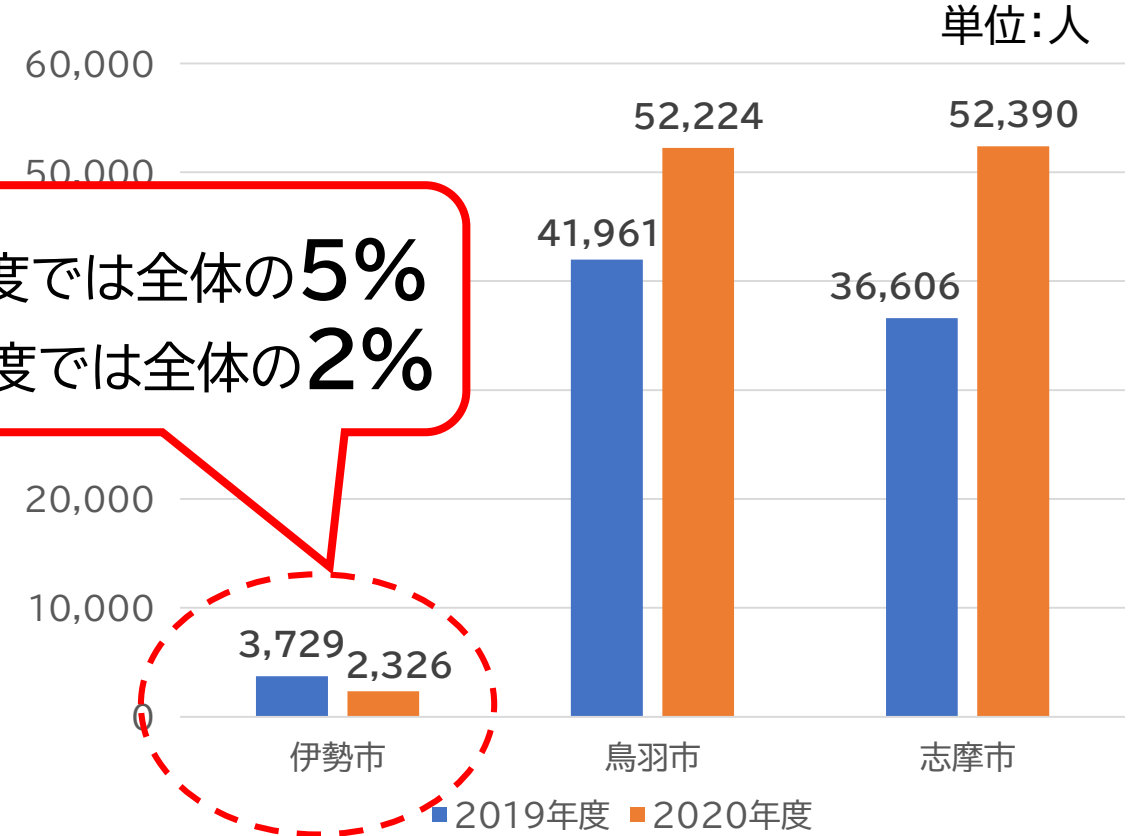
## ◆宿泊者数

観光における宿泊者数が鳥羽・志摩と比較すると少なく、  
修学旅行での宿泊も同様に少ない

学生団体旅行誘致実施調査  
 対象：観光協会会員宿泊施設



2019年度では全体の**5%**  
 2020年度では全体の**2%**



出典:RESAS 観光マップ/From-to分析(宿泊者)

出典:伊勢志摩コンベンション機構伊勢志摩学生団体誘致委員会  
 学生団体旅行誘致実施調査集計結果

# 修学旅行を誘致するメリット①

## 2020年度 生徒一人当たりの費用平均額

中学校	宿泊費	14,538円	合計
	体験活動費・その他	13,376円	27,914円
高等学校	宿泊費	28,023円	合計
	体験活動費・その他	17,616円	45,639円

2020年度の伊勢市内における  
観光客1人当たりの観光消費総額

日帰り客 5,448円  
市内宿泊客 22,954円

出典:令和2年伊勢市観光客実態調査

出典:公益社団法人日本修学旅行協会「教育旅行年報データブック2021年」

※交通費は含めず

1学校あたり  
数10人～数100人の生徒が  
宿泊・体験等を行う

2020年度 内宮への学校参拝者数 49,277人

全ての学校参拝者が  
修学旅行生だと仮定…

出典:令和2年伊勢市観光統計

2020年 市内観光消費額  
合計299.8 億円

修学旅行全体の費用

中学校 費用合計 27,914円 × 49,277人 = 約13億7551万円

高等学校 費用合計 45,639円 × 49,277人 = 約22億4895万円

規模はまだ観光全体の1割未満 → 規模を拡大することで観光を盛り上げる

# 修学旅行を誘致するメリット②

## ◆宿泊者数

2019年度の平均旅行日数→中学校で3.2日(8割が3日で実施)

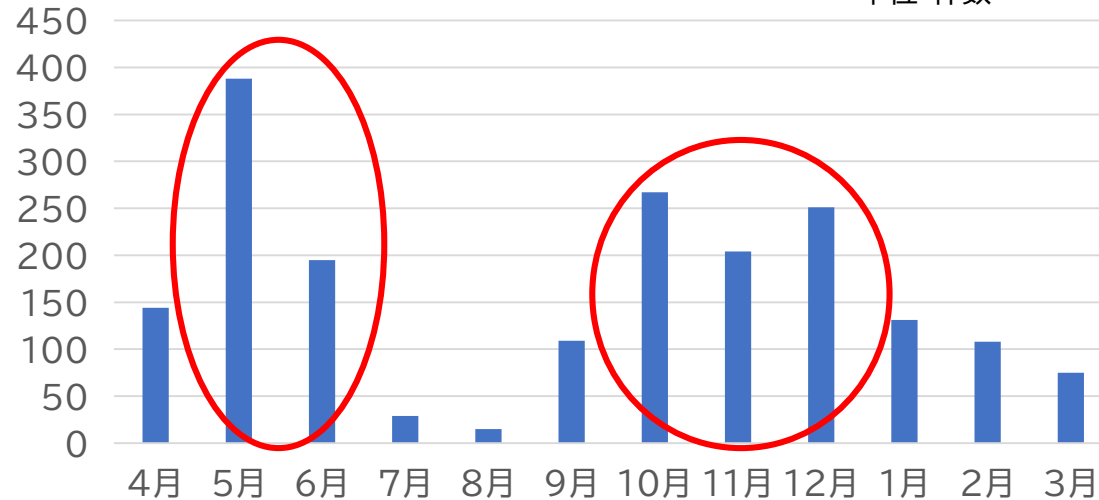
高等学校で4.2日(7割近くが4日で実施)

出典:公益社団法人日本修学旅行協会「教育旅行年報データブック2020年」

基本的に宿泊を伴う  
↓  
宿泊者数増加につながる

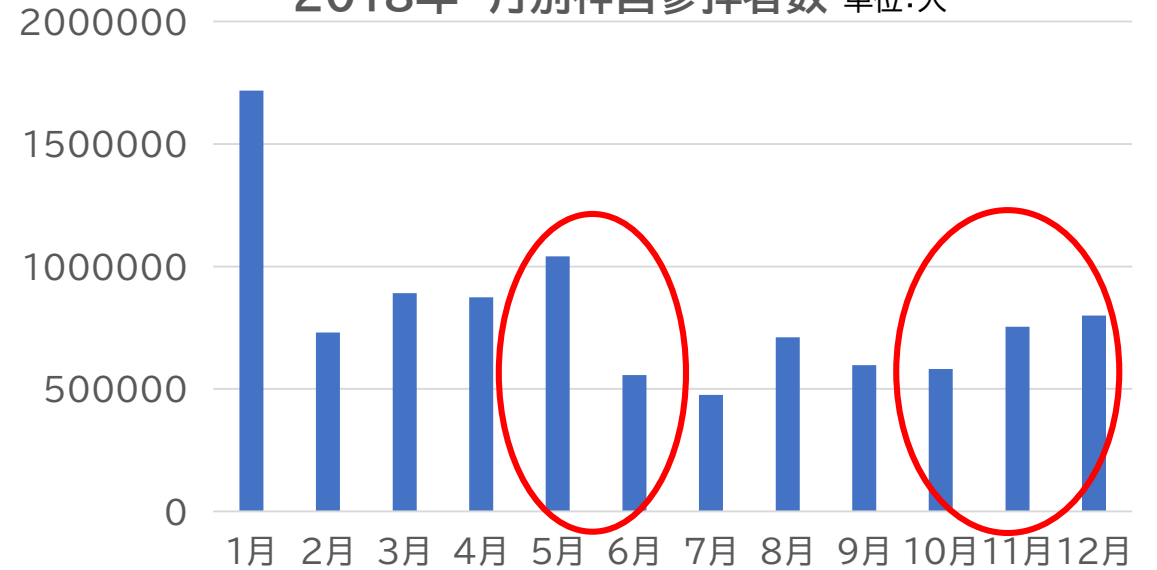
## ◆実施時期

2018年度 中・高等学校 修学旅行実施時期  
単位:件数



出典:公益社団法人日本修学旅行協会「教育旅行年報データブック2020年」

2018年 月別神宮参拝者数 単位:人



出典:平成30年伊勢市観光統計

修学旅行の定番は10月～12月や5月～6月であり、基本は一般旅行のピークを外して行われることが多い

また、平日や平日を含む日程が多く、観光客が少ない時期の観光客数の増加が期待できる

# 修学旅行がもたらす効果

修学旅行で訪れた学生がその土地に好感を持ち、

その後リピーターとなって再びその土地を訪問することが期待できる

参考文献:国土交通省近畿地方整備局「京都を中心とした歴史都市の総合的魅力度向上に係る修学旅行生に対する体験プログラムの発掘と情報発信に関する調査報告書」平成19年3月

- ①子どものうちから地域文化の魅力に触れさせることで、地域文化の知名度を高める
- ②将来的にこの地に定住したいという希望者や訪れてみたいという観光客増大が期待できる
- ③地域経済の活性化、将来的な学生数の確保にもつながる

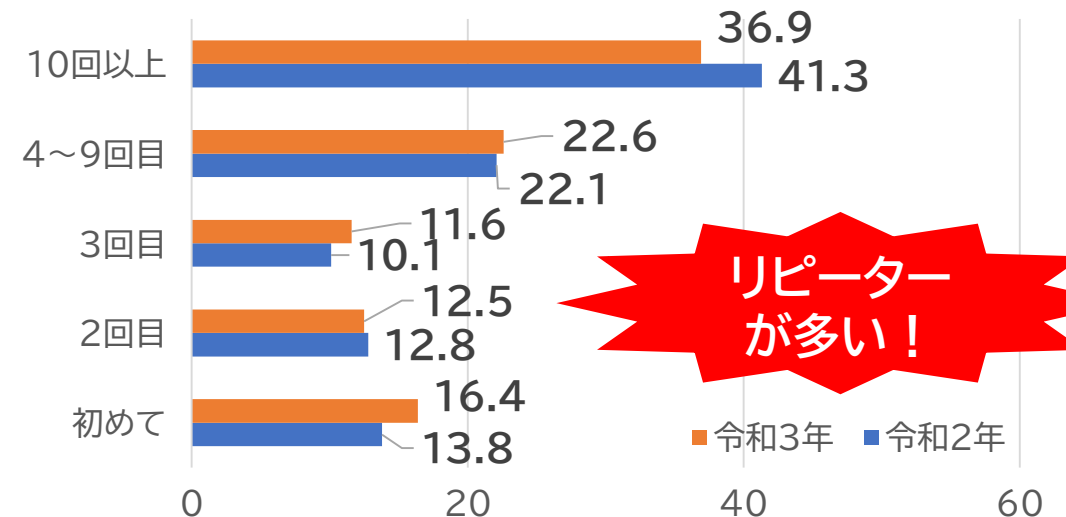
参考文献:新田時也「教育旅行誘致の意義とその方策に関する一考察  
 静清教育旅行誘致協議会の事例研究を通して」

Vol.2 No.2「海—自然と文化」東海大学紀要海洋学部 2004年8月31日

伊勢を知らない・訪れる機会がなかった学生にも  
 来てもらうことで、  
伊勢を知ってもらう・興味を持ってもらうきっかけに

➡ リピーターにつなげる

令和2・3年伊勢市訪問回数 構成比(%)



出典:令和3年伊勢市観光客実態調査報告書

# 修学旅行を伊勢に誘致する理由

◆伊勢神宮には2000年、1500年の伝統→**日本人の生活・習慣に繋がる**

- ・簡単に壊すことができる木で社殿を作り、20年に1度作り替える  
→常に若く瑞々しい姿を未来にわたり保ち続ける＝「**常若**」の思想
- ・社殿の木材の**再利用**
- ・社殿の建築や神宝の製作に関する技術を失わず、次代に継承
- ・御造営用材を自給自足、神宮林の保護→川、海の保全にも繋がる
- ・お供え物、土器→自給自足、古くから地元の物を利用
- ・日々の食事に感謝→食材を大切に

➡ **SDGs・サステナブル** に繋がる

◆伊勢には独自の歴史があり、観光や歴史・体験学習等において、土地に深く根差しているものが多い

➡ **教育資源が豊富**

◆伊勢神宮以外のスポットにも足を運んでもらう

➡ **伊勢市全体の活性化** + **伊勢の魅力为全国に広める**

日本人の  
心のふるさと

常若＝持続可能

自然を敬い、  
自然に感謝

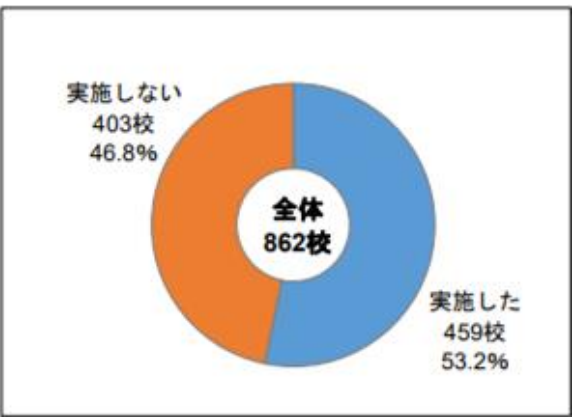


**伊勢を「学習の地」として発信！ → 修学旅行を誘致！**

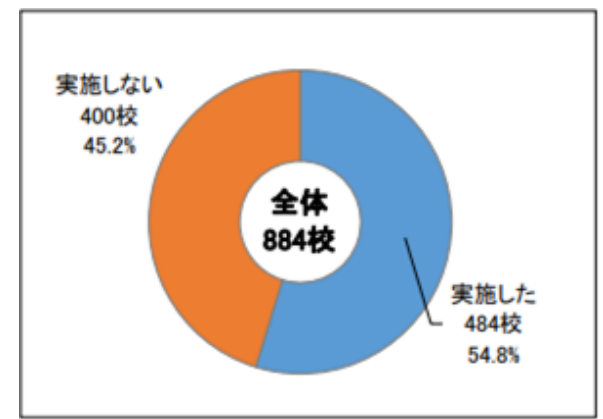
# 1 体験学習が充実しているか

修学旅行の学習活動の中でも体験学習の教育効果の高さは広く認識されており、近年の修学旅行では体験学習が増え、中学校、高等学校の体験活動の実施率はともに半数を上回っている

中学校調査

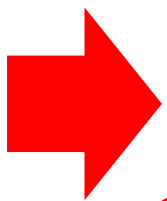


高等学校調査



公益社団法人日本修学旅行協会 2019年度実施国内修学旅行の実態まとめ

【2018年3月告示の新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められている】



代表的なスポーツ体験や平和体験と並び、

- ・文化体験(ものづくり体験・芸術体験等)
- ・料理体験・食品加工体験
- ・環境学習・自然体験

等の人気も非常に高い

伊勢に根付いた文化や自然に基づく体験学習をあらかじめ選定し、パッケージング化することで、体験学習に望める機会を十分に確保する

## 2 学習としての修学旅行 —SDGs学習を取り込む—

SDGs(持続可能な開発目標)が社会に浸透しつつある中で、学校教育においても **ESD(持続可能な開発のための教育)**が提唱され、SDGs実現に向けて総合学習や社会科等を初めとして取り入れられている

幼稚園(2018)、小学校(2020)、中学校(2021)、高等学校(2022)

および特別支援学校の新学習指導要領への改定により、

### **「持続可能な社会の創り手」の育成**

に関する記述が各前文および総則に掲げられた

### しかし現場では…

『取り入れてはいるものの、単元としてのまとまった学習までは実施できていない…』  
～三重県下の高校にヒアリング～

具体的な指導内容は明示されていないため、**現場の教職員**がSDGsについての学習を**組み立て、取り上げなければならない**

そこで **伊勢神宮を軸とした歴史や文化、自然資源**で



→短期間でも回れる豊富な体験学習 →まとまったSDGs学習の機会とする

修学旅行先としての魅力(体験学習、SDGs学習)を確立することで、コロナ収束後も継続的に選ばれるようにする。《SDGs学習パッケージ》

事前事後学習の充実〈学習の修学旅行の提案プログラムの要〉

高校へのヒアリング結果でも修学旅行にSDGs学習要素があると良い と回答を得られている

## 事前事後学習 —修学旅行の提案をさらに有意義に—

修学旅行の提案をさらに有意義なものとするためには、現地での学習で完結させてしまうのではなく、**事前学習および事後学習**も重要となる

### テーマ例:「横丁サイダー」空き瓶の再利用

#### 事前学習

～地域の課題や取り組みを知る～

おかげ横丁の「しろがね屋」「他抜きだんらん亭」では、伊勢市二見町の「でく工房」による、「横丁サイダー」の**空き瓶を再利用**したグラスや風鈴等のオリジナルガラス製品が販売されている。その空き瓶を再利用したグラスや風鈴、事前に学ぶことで実際に目にした時に、**より興味深く学べる意識付けを行う**ことができる。

#### 現地

～実際に体感してみる～

現地では五十鈴川の伏流水を使用した「横丁サイダー」を実際に飲んでみたり、空き瓶を再利用したガラス商品を手に取ってみる。お土産選びをしながら、**学んだ知識と体感した経験**を強く結びつけることで、**課題を身近に感じてもらう**。

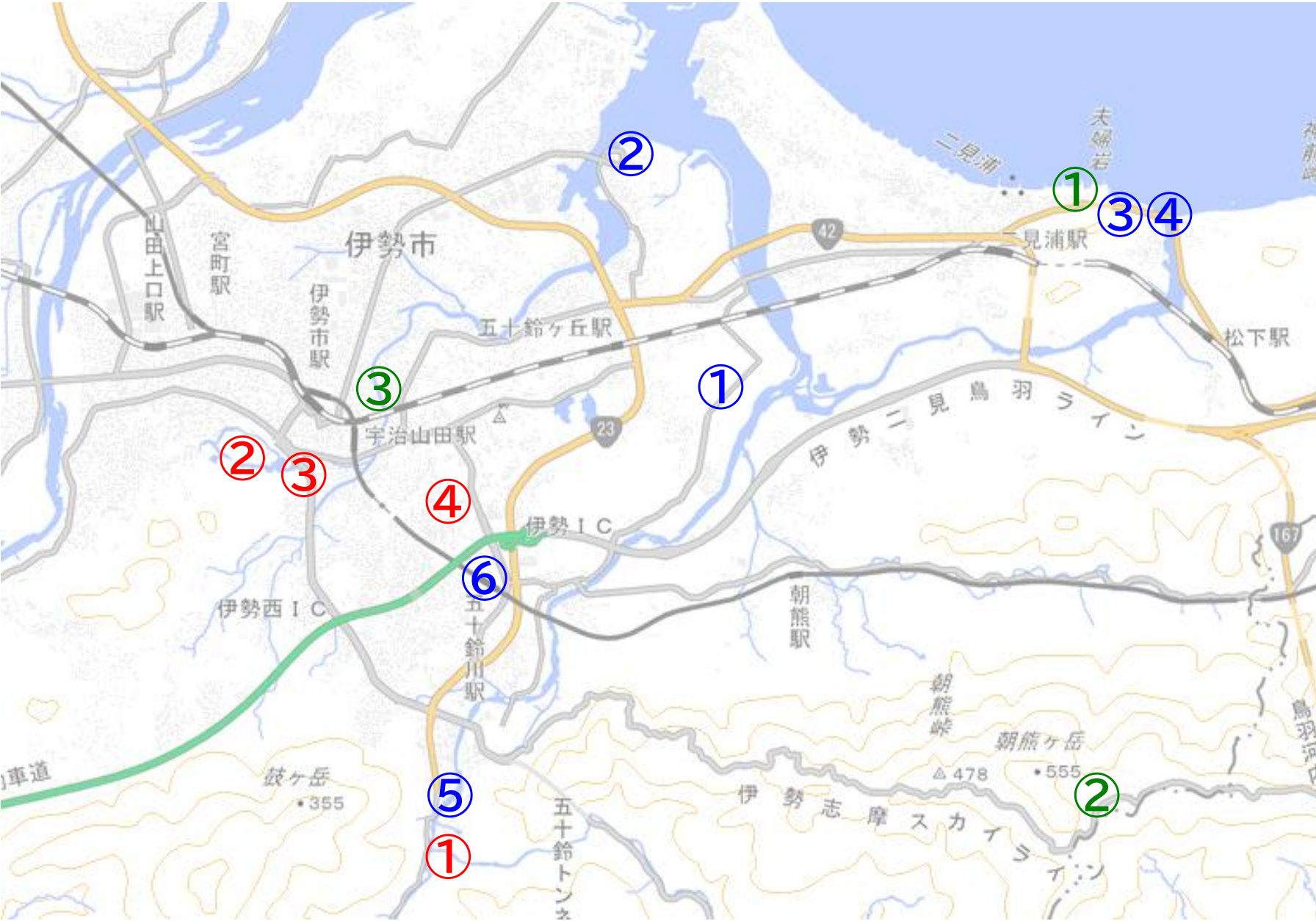


#### 事後学習

～学びを深める～

今回の空き瓶の再利用に関する学びをもとに、ガラス瓶のリユースやリサイクルに関する利便性や現状の課題、同じような取り組みについて、さらに視野を広げて調べ、発表する。**知ったこと、感じたこと、学んだことを全員で共有**することで、**SDGsの多様性や重要性を学ぶ学習**としての総まとめを行う。

# <SDGs学習パッケージ>行き先マップ



## <伊勢神宮関連>

- ①内宮
- ②外宮
- ③式年遷宮記念せんぐう館
- ④神宮徴古館・農業館・美術館

## <体験施設>

- ①菊池パール
- ②若松屋
- ③めおと横丁
- ④伊勢シーパラダイス
- ⑤おかげ横丁・おはらい町
- ⑥ドローン操縦体験

## <その他伊勢市内>

- ①夫婦岩・二見興玉神社
- ②朝熊岳金剛證寺
- ③河崎

# <SDGs学習パッケージ>行先一覧①

行先を、

**伊勢神宮関連**













**体験施設**

**その他伊勢市内**

の3種類に分類



➔ 各分類から学習したいSDGsプログラムに合わせて行先を選択してもらう

## 【伊勢神宮関連】

No	施設名	SDGsプログラム	体験内容	SDGsとしての視点
①	伊勢神宮内宮	 	神宮参拝	伊勢神宮の式年遷宮という伝統文化を知り、守り伝えられてきた文化遺産と持続可能性に着目して考える 例)使用する木材やお供え物などのための森林、田畑の保全活動、解体後の木材の再利用 「常若」の理念＝日本的な感性が育んだサステナビリティ
②	伊勢神宮外宮			
③	式年遷宮記念せんぐう館	     	式年遷宮に関する様々な情報を展示する博物館を見学する	20年に一度の式年遷宮は、日本最古のSDGsと言え、SDGsについて考えるきっかけとなる
④	神宮徴古館・農業館・美術館	  	徴古館：神宮の祭典、歴史、文化、国の重要文化財を見学 農業館：自然と人間のかかわり、国の登録有名文化財を見学する	神宮の祭典や歴史、文化に関する資料や神饌、自然科学系の資料に間近に触れることで神宮の歴史を学び、持続的な自然とのかかわりに触れる









# <SDGs学習パッケージ>行先一覧②


## 【体験施設】

No	施設名	SDGsプログラム	体験内容	SDGsとしての視点
①	菊池パール	  	アコヤ貝から真珠を取り出す体験 デザイン金具でアクセサリに仕上げる	真珠ができるまでなどの詳しい話や、地球温暖化などでアコヤ貝の変死なども起きている現状、自然を守る大切さなどを学ぶ
②	若松屋	 	かまぼこ作り・箸作り体験	実際に手に取ることにより伝統工芸への関心を高める 持続可能な産業化を考える
③	めおと横丁	 	「めおと岩カフェ」での苔玉作り体験や御朱印帳作り体験	苔玉づくり体験や歴史ある伝統工芸品、「伊勢型紙」を使って染められた伊勢木綿を使った御朱印帳づくり体験を通して日本の伝統文化への関心を高める
④	伊勢シーパラダイス		トドやセイウチなど海獣と触れ合う	ケープペンギン、トド、ゴツメカワウソなど絶滅の危機にある動物に触れ合うことで、海洋環境の保全を考える
⑤	おかげ横丁・おはらい町	     	昼食・買い物など自由散策	可食部の再利用、ジュース瓶のリサイクル商品など、飲食店で実施されているSDGsを間近で学びつつ、伊勢の食材や文化、伝統工芸品などを楽しむ
⑥	ドローン操縦体験	   	ドローンの操縦体験	最新技術であり今後様々な分野に期待されているドローンの操縦体験を行うことで、テクノロジーへの理解を深める

# <SDGs学習パッケージ>行先一覧③

## 【その他伊勢市内】

No	施設名	SDGsプログラム	体験内容	SDGsとしての視点
①	夫婦岩・二見興玉神社	  	神社参拝 内宮、外宮を参る前に参拝する習わしを体験	夫婦岩にかけられた大注連縄の張替えなど、長い歴史を有していることで、守り伝えられてきた文化遺産と、観光の在り方や持続可能性に着目して考える
②	朝熊山金剛證寺	 	伊勢神宮の鬼門を守る寺「お伊勢参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」と謡われる寺を参拝	お伊勢参りの最終目的地としての重要である朝熊山金剛證寺の守り伝えられてきた文化に触れる
③	河崎エリア	  	勢田川の水運を生かした問屋街 「伊勢の台所」として栄えた、町や蔵が今も昔の雰囲気を残すエリア 問屋街としての河崎を今に伝える博物館「河崎商人館」を見学	古い建物を利用したカフェやショップの訪問や河崎で盛んに作られた春慶塗りの丈夫な漆器「伊勢春慶」など昔ながらの建築や伝統工芸品への関心を高める


行先を選択してもらうことで、重視したい学習内容や日程、時間配分を自由に設定可能に

## 《伊勢市内 SDGs 11項目体験 修学旅行モデルコース》

※1日目は伊勢到着時間を11:00~12:00の間、宿泊施設到着を17:00頃と設定

※2日目の朝の出発時間は8:00~9:00の間、伊勢出発時間を15:00頃と設定



このコースで  
SDGs11項目を体験  
できる！

.....バス(車) = 徒歩



1日目は二見で体験！



＼伊勢木綿を使った自分だけの御朱印帳／



＼カワウソのベッドはグッズに再利用／



2日目は伊勢神宮をめぐる！



／式年遷宮という伝統文化を知る！／



／SDGsの取組が見つかる／



## 将来的な展望 —3つの価値が相互に働くサイクルを目指す—

修学旅行を基軸とし、SDGsを通して伊勢の魅力をわかりやすくパッケージングすることで、「学習の地」として『**SDGsと言えば伊勢**』というブランドの定着を目指す

